



故 松 本 重 一 郎 先 生

The late Professor Juichiro Matsumoto

(1920~2000)

松本重一郎先生のご逝去を悼む

日本水産学会名誉会員，上智大学名誉教授松本重一郎博士は平成12年5月19日東京目黒の自宅において逝去されました。享年79歳でした。

先生は大正9年(1920年)12月8日大阪市でお生まれになり，昭和17年第二次世界大戦のさなか東京帝国大学理学部化学科をご卒業後，海軍技術大尉として従軍されました。戦後，東京帝国大学大学院で再び研究生活に戻られました。その後，農林省水産試験場(後の水産庁東海区水産研究所)を経て，昭和37年理工学部創設と同時に上智大学教授として赴任されました。昭和62年に上智大学を退任されるまで，水産化学の研究を続けてこられました。また，在職中には九州大学農学部，京都大学農学部，お茶の水女子大学家政学部等の講師を併任されました。その後，18年間にわたり森村学園の理事長として，若い人たちの指導に努めてこられました。

先生は水産化学の分野において多くの業績を挙げてこられました。特に東海区水産研究所の時代に始められたイカ類筋肉タンパク質の研究では数多くの成果を挙げておられます。また上智大学に移られてからは，魚肉タンパク質の冷凍変性機構の解明を手始めに，魚肉タンパク質の熱変性機構の解明，さらにそれを発展させ魚肉練り製品のゲル形成機構に関する研究を行い，基礎から応用の各分野で多大な貢献をしてこられました。また，本学会におきましては評議員，編集委員長などを歴任し斯界の発展に尽力されました。これらの業績により昭和35年度日本水産学会賞，また昭和56年度には日本水産学会功績賞を受賞され，平成3年に同学会の名誉会員に推挙されております。

先生は上智大学理工学部化学科で水産化学の研究を進める異色の研究者でしたが，食品生化学分野をより充実させたいとの一念で，研究教育に情熱を燃やし，多くの優れた人材を世に送られました。厳しい中にもユーモアに富んだ話し

ぶりに数多くの後輩や学生が慕って集まり、親しくお話しをさせて頂くのが常でした。今年末に80歳になられる折りに開催を予定されていた卒業生との集まりを楽しみにされている最中、5月に急逝されました。

ここに松本重一郎先生の生前のご業績を称え、謹んで哀悼の意を表します。

(土屋隆英, 上智大学教授)